

## non-coding RNA を介したヘテロクロマチンの 動態制御機構

講師：村上洋太 先生

(北海道大学 大学院理学研究院化学部門  
生物有機化学研究室 教授)

日時：4月4日(月) 午後 4:00 より

場所：4号館3階 大講義室

### 概要

ヒストン H3K9 のメチル化とそれを認識する HP1 ファミリータンパク質により規定される構成的ヘテロクロマチンはトランスポゾン・反復配列といったジャンク DNA の上に形成され、「不活性」なクロマチン構造と思われてきた。しかし、最近の解析結果は、ヘテロクロマチンが想像以上にダイナミックな構造体で、RNAi 機構を初めとする複雑な制御を受けていることや、染色体分配にも深く関与することがわかってきた。我々は分裂酵母をモデルシステムとしてこのヘテロクロマチンの構造と機能の制御機構の解析をすすめているが、特にヘテロクロマチン内で転写される non-coding RNA を中心としたヘテロクロマチンの制御機構についての最新の知見を紹介する。